

登録コード	A3596456	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	鈴木 香奈子	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年後期
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				研究課題について自分で取り組み方を考えながら遂行できる能力を培うこと。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				研究課題について自分で取り組み方を考えながら遂行できる能力を培うこと。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				研究課題について自分で取り組み方を考えながら遂行できる能力を培うこと。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				研究課題について自分で取り組み方を考えながら遂行できる能力を培うこと。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	専攻研究 において実施した試験結果をきちんとまとめ、その内容を卒業論文として公表する。この活動を通し、信州や日本の農業への役割を理解する。そして、問題をどのように解決していくのか考察する。						
(5)授業計画	1．試験データのまとめとデータから読み取れる事象についてまとめる 2．既往の研究と自身のデータとの比較・検討を行う 3．試験結果と考察を論文としてまとめる 4．高冷地農業の問題について将来的な解決の可能性を含めて論じる 5．卒業論文発表会にて、自身の研究について説明する						
(6)自主学習の指針	自身の研究テーマに関連した論文をできる限り多くの集め読み進めること。						
(7)成績評価の基準	試験結果のまとめ、結果から何を考察するかについて熟慮し、読み手が分かりやすく、興味を抱くような論述を試みる姿勢を評価したいと思います。						
(8)事前事後学習の内容	自身の研究テーマに関連した論文をできる限り多くの集め読み進めること。						
(9)テストやレポートの予定	○専攻研究の成果としての卒業論文を完成させ、提出することをもとめます。また可能であれば、ショートペーパーなどで学術雑誌に発表することも積極的にやってほしいと思います。 ○最後の15分間は授業アンケートに回答するための時間とします。						
(10)成績評価の方法	（５）に基づき、レベルによって採点する。 非常にしっかりとした論述については高い評価をする。また、自身の研究成果を基にして、高冷地農業の問題解決手法について考察していることについて加点する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	email:kanasuzu@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	分からないことは、指導教員へ連絡・報告・相談をして、しっかりと理解を深めるように努力すること。						
【教科書】	特に指定はしませんが、作物の養分吸収や土壌学などの分野の専門書・論文は読んでおいてください。						
【参考書】	特に指定はしませんが、作物の養分吸収や土壌学などの分野の専門書・論文は読んでおいてください。						